

文化賞

「みんなでまなぶ有田川町の歴史」

編集委員長

鶴田 優雄



文化財とは長い歴史の中で育まれ、現代に伝えられてきた国民共有の財産であり、歴史や文化を理解するために欠かせないものである。私たちが住む有田川町には、およそ2万年前に人々が生活を始めて以来、先人たちの活動の痕跡が町内各所に残されており、国・県・町の指定文化財だけでも200点余りを数えるなど、歴史豊かな町と言える。しかしながら、町の歴史を知り、文化財に触れる機会には必ずしも恵まれていない。

その現状を鑑み、文化財保護審議会の委員を中心となって町の歴史や文化を分かりやすく伝える冊子の刊行を行うことが計画された。文化財保護審議会の中に編集委員会が設立され、豊かに息づく有田川町の歴史について原稿の執筆や編集作業を進めてこられた。できる限り写真や図版を多く掲載し、多くの町民に親しみをもって活用してもらえるよう配慮されている。子どもから大人まで誰にでも分かりやすく学んでいただきたいとの思いから、書名は『みんなでまなぶ 有田川町の歴史』と名付けられた。

構想からおよそ2年の歳月を経て刊行に至ったが、この間、平成3年から文化財保護審議会委員として文化財の保存に尽力されてこられた鶴田編集委員長が中心となって編集活動を牽引されてこられた。

この冊子は、平成18年の3町合併以来、有田川町の歴史を通史的にまとめた初めての事業であり、当町における文化振興や普及に大きく貢献したその功績は顕著である。